

## 附属小 研究だより

粘り強くともに学ぶ子どもの育成（3年次）  
～各教科等の「資質・能力」を育む学習評価を生かした指導方法の工夫・改善～

詳しくは裏面をご覧ください

オンライン研究発表会 締め切り間近!!

## ご挨拶

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策の中で、学校教育活動の充実のために奮闘されていることと推察いたします。年が明け、いよいよ本校の研究発表会の日が近づいてまいりました。

本校は、昨年度までの2年間、文部科学省より「主体的・対話的で深い学びの推進事業」の委託を受け、研究を進めてまいりました。昨年度の研究発表会では、研究主題「粘り強くともに学ぶ子どもの育成」のもと、各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせる姿を具体化し、それに関する評価・見取りについて提案いたしました。本年度も研究主題を継続し、各教科等の「資質・能力」を育む学習評価を生かした指導方法の工夫など、より一層の改善を図った授業を子どもの姿を通して提案いたします。ぜひご覧ください。

本年度の研究発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1日間でしかもオンラインによる開催といたしました。十分な議論の場を設けるために、事前にYouTube授業動画を配信いたします。それをご視聴いただいた上で、当日、オンラインで研究発表会にご参加ください。皆様方の忌憚のないご意見・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、当日皆様にお目にかかれるのを楽しみにしています。

熊本大学教育学部附属小学校 校長 井福 裕俊

## 附属小オンライン研究発表会 ここがポイント！

各教科等の「資質・能力」を育む授業や単元づくり、  
学習評価の在り方について語り合しましょう！

オンラインだからこそできる！

## POINT

## 粘り強くともに学ぶ姿を生み出す“単元の提案”

- 事前に本時の授業動画とともに、単元びらきや前時までの授業ダイジェスト等を配信いたします。オンラインだからこそできる“単元レベル”での実践提案をいたします。
- 各教科等の「資質・能力」を育むために、いかに学習評価を指導改善に生かしていくか子どもたちの学びの姿を通してお見せします。

期 日 2月15日（月）～19日（金）… YouTubeによる授業動画の事前配信  
2月20日（土）… Zoomによるオンライン研究発表会（各教科等の分科会・全体提案・講演）

## 講 師 講演「新しい学習評価と授業づくりのあり方」

## 京都大学 准教授 石井 英真 先生

京都大学大学院教育学研究科 准教授 博士（教育学）  
神戸松蔭女子学院大学人間科学部准教授などを経て現職。

著書『未来の学校 ポスト・コロナの公教育のリデザイン』（日本標準）  
『授業づくりの深め方「よい授業」をデザインするための5つのツボ』（ミネルヴァ書房）  
『中教審「答申」を読み解く』（日本標準）  
『今求められる学力と学びとは ―コンピテンシー・ベースのカリキュラムの光と影―』（日本標準）  
『小学校発 アクティブ・ラーニングを超える授業 一質の高い学びのヴィジョン「教科する」授業―』（日本標準）  
『授業改善8つのアクション』（東洋館出版社）など



【2月20日】											
8:15	9:00	10:25	10:35	12:00	12:50	14:15	14:25	14:35	15:00	16:50	
受付	分科会Ⅰ	休憩	分科会Ⅱ	昼食	分科会Ⅲ	休憩	校長あいさつ	全体提案	講演	閉会アンケート	

## 研究会当日までの流れ

① 申し込む  
～2/14（日）

「イベントペイ」より  
URL：<http://u0u0.net/livW>



携帯電話キャリアメールのアドレスは、多くの場合、受信設定の変更が必要になります。お申し込みは、できるだけPCで連絡可能なアドレスのご登録をお願いします。

② 受け取る  
～2/15（月）

手続き完了後イベントペイからの「登録完了メール」が届きます。

※手続き完了後メールが届かない場合は、迷惑メール等に分類されている可能性がありますのでご確認ください。

※「①申し込む」の際に「コンビニ決済」を選択された方は、お支払いをもって受付完了となります。未決済の場合「③見る」以降のメールが届きませんので、お早めのお支払いをお願いします。

③ 見る  
2/15（月）～2/19（金）

研究発表会1週間前に本校から以下の内容のメールが届きます。

- （1）研究会資料ダウンロード先リンク  
・学習指導案集（PDF）  
・研究紀要（PDF）

※ご自身で事前にダウンロードをお願いします。

※教科等によって、ワークシートや評価問題等のダウンロード資料もあります。

- （2）授業動画リンク  
事前申し込んだ3本の授業動画が閲覧可能です。

④ 参加する  
2/20（土）

研究会当日朝までに本校から「Zoom入室について」のメールが届きます。

- （1）Zoom ミーティング ID  
・全体会  
・分科会

※ Zoom の使用方法や接続状況についてのお問い合わせは受け付けておりません。事前にご確認をお願いいたします。

- （2）アンケートフォームの URL

オンライン研究発表会の申し込み締め切りは **2月14日（日）** です。

熊本大学教育学部附属小学校 **研究だより** VOL.57

ホームページ <https://elem.educ.kumamoto-u.ac.jp/> 熊大附属小 検索

発行日 令和3年1月8日

編集・発行 熊本大学教育学部附属小学校 〒860-0081 熊本市中央区京町本丁 5-12 TEL 096 (356) 2492 FAX 096 (356) 2499




©2010熊本県くまモン



# 公開授業Ⅰ

## (分科会Ⅰ)

国語科 第2学年  
「スーホの白い馬」  
「問い」を立てる学びから生まれる子どもたちの姿



低学年の子どもたちが「問い」を立てることは難しいと考えていませんか？本単元では「スーホの息子に語る番外編を作る」という活動を設定することで、行動の理由に迫る問いを立て、主体的に解決に取り組む姿をご覧ください。

(田邊 友弥)


社会科 第5学年  
「自然災害とともに生きる」  
公助と自助・共助がにつながる授業をお見せします！



5年生の自然災害といえば公助の学習。個別の災害対策を調べるだけでは自分事への追究にはなりません。公助があるからこそできる自助・共助を提案する活動を通して、自然災害を自分事として追究していく授業を提案します。

(村上 春樹)


算数科 第6学年  
「図形を重ねて研究を深めよう」  
数学的活動を子ども自ら進める姿をお見せします！



四角形の紙を2枚重ねてみると、子どもたちはそこから様々な問題を発見します。その問題を、6年間で学んだ学習内容を総動員して解決し、また新たな問題を見出し、自ら学びを進め、論理的に探究していく授業を提案します。

(大林 将晃)

理科 第5学年  
「育てよう！ほくらのメダカたち」  
冬場のメダカ飼育から生物の巧みさを実感する授業



メダカはなぜ春に生まれてくるのでしょうか？そこには生命をつなぐ巧みな戦略が隠されています。冬にもメダカは孵化するの？そんな子どもの思いを引き出し、飼育を通して生物の神秘性を実感していく授業を提案します。

(松山 明道)


音楽科 第3学年  
「つくろう！リズムアンサンブル」  
伝えたいことに合う音楽表現を追求する授業



音楽づくりの授業で、記譜したことを再現できずに困る子どもの姿はありませんか。ICTを活用することで、つくった音楽と伝えたいことのつながりに焦点をあてて試行錯誤し、表現の工夫を追求していく授業を提案します。

(上原 正士)


家庭科 第5学年  
「未来を変えるあなたの選択！～物やお金の使い方～」  
自分の消費行動に立ち止まり、よりよい判断力を身につける



物が溢れた消費社会では、必要な物を的確に選ぶ力が必要です。そこで、商品やサービスを選択する基準となる安全性・品質・価格などの視点にシカルな視点を加えた、消費者行動について考えていく授業を提案します。

(大廣 紘子)


体育科 第1学年  
「トライアングルシュートゲーム」(ゲーム)  
体の使い方を自ら考え直す授業



投げ方を教えるだけでボールが投げられるようになるでしょうか。3チームでボールを投げ合うゲームの中で、なりたい姿をイメージし、その実現に向けて素早く強くボールを投げるための体の動きを捉え直す授業を提案します。

(磨田 慎太郎)

外国語科 第5学年  
「“My Hero, My Sunshine!” (光村 U9 参考)」  
身近な人を紹介する言語活動を通して表現するおもしろさを実感する授業




身近な人の魅力を英語で紹介するとき、“My hero”の他にもわくわくする比喩表現があります。人柄やその人への思いを“star”“sunshine”等の比喩と既習表現を駆使して、英語で伝えるおもしろさを実感する授業を提案します。

(高田 実里)

# 公開授業Ⅱ

## (分科会Ⅱ)


国語科 第5学年  
「大造じいさんとガン」  
「大造の流儀」を創る中で、資質・能力を育む授業



「プロフェッショナル－大造の流儀－」を創る。この言語活動を核として、「人物像を捉える」ための問いを立てる力、言動や描写を関連付ける力、自己の学びを振り返り、問いを発展・更新する力を育む授業を提案します。

(溝上 剛道)


社会科 第3学年  
「火事からくらしを守る」  
見方・考え方を働かせ、社会的事象の意味に迫る授業



今回の学習指導要領で3年生の取り扱いとなった消防の働き。防火だよりをつくる活動の中から生まれた問いを追究することで、熊本市の防災の現状に気付き、自らの社会への関わり方を見つめていく授業を提案します。

(山田 壽彦)


算数科 第2学年  
「はこをつくってしらべよう」  
箱の形の秘密を子ども自ら解き明かします



子どもにとって箱の形は身近なものです。その捉えはまだ曖昧です。念頭操作や具体物操作を通して、構成要素に着目しながら、夢中になって箱の形を探究していきます。箱の形の性質を自ら解き明かしていく姿をご覧ください。

(枝川 晃久)


理科プログラミング 第6学年  
「作ろう！わたしたちのスマートエネルギータウン」  
プログラミングを活用する有用性を感じる授業提案



今年度からスタートしたプログラミング教育。プログラミングをすることが目的化してはいないでしょうか？街の電力を調整するという文脈の中でプログラミングを活用し、その有用性を感じていける授業を提案します。

(松山 明道)


生活科 第1学年  
「ふゆのあそび～みんなでさくろう！たこあげのみつみ～」  
「試す、見通す、工夫する」から生まれる創造的な思考



創造的な思考を生み出すキーワードは、「試す、見通す、工夫する」です。本実践では、風揚げの魅力を伝える人と出会うことで思いや願いをもち、試行錯誤を繰り返していく中で子どもの思考がより活性化される授業を提案します。

(坂口 静磨)

オンライン研究発表会の開催



研究部長 中尾 聡志

昨年度末、突然始まったコロナ禍による臨時休校。その影響は私たちが思っていた以上に大きなものとなりました。昨年度末の段階で、このコロナ禍が1年間も収束しないことなど、誰が予想できたでしょうか。全国の子どもたちや先生方の健康を祈っております。

さて、今年度の研究発表会は「オンライン研究発表会」として開催いたします。当初は通常開催を計画しておりましたが、現在の状況ではその実現は難しいと考え、オンライン開催に変更いたしました。全国的にも、すでにオンラインによる研究発表会は始まっており、本校では「YouTubeの限定公開機能による授業動画公開」と「2月20日(土)のオンラインによる教科等分科会」・「石井英真先生のご講演」の3

つのコンテンツを中心に、研究発表会を開催しようと考えております。どれも満足いただける内容となるよう、現在鋭意準備中です。どうぞご期待ください。

私たちがこの3つのコンテンツの中で、特に力を入れているのが「授業動画公開」です。通常開催では、当日1時間の子どもの学びしか公開できません。しかし、オンラインだからこそ「単元全体を見通すことのできる提案」ができると思っています。子どもたちの生き生きとした学びを目の前で見たい、だいたいというのが本音ですが、オンラインだからこそその強みを生かすことのできる研究発表会にしようと考えました。そこで、本時の授業動画を公開するだけではなく、「単元の全体像を見通すことのできる提案」にしようと考えました。「本時の授業」は当然のこと「単元導入の学び」や「単元途中の学び」「単元末の学び」等を見通すことのできる動画を公開し、「オンラインだからよくわからなかった」という提案にいただける提案にしたいと考えております。

少し今年度、本校が取り組んできた研究内容についてもご


紹介します。今年度本校では「学習評価を活かした指導法の工夫」に力を入れて取り組んできました。研究主題「粘り強くとともに学ぶ子どもの育成」についての研究ももう3年目です。そのような中、今年度、力を入れて取り組むべき内容として「学習評価」があると考えたのです。けれども、単なる評価方法の工夫について研究しても、子どもたちの学びを変容させることにはつながりにくいのです。そうならないためには、評価を指導に返すことが大切です。指導に返すからこそ、評価が生きたものとなります。そのような考えを基にして、「学習評価を活かした指導法の工夫」について1年間研究してきました。研究発表会当日には、この1年間の研究で見られた知見を生かし、その指導法の工夫についての具体的な提案を、24の分科会で行います。どれも必見の提案になることは間違いありません。

オンライン開催の強みに、全国の先生方とボタン一つでつながることができるということもあります。2月20日(金)には、全国各地の先生方にご参会いただき、双方向にやり取りをしながら、満足していただけるような研究発表会となるように準備を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

# 公開授業Ⅲ

## (分科会Ⅲ)


算数科 第3学年  
「等分した大きさを分数を使って表そう」  
分数で表した量を比べながら、分数の意味を考える授業



基にする量は何mなのかを意識せず、3等分した1つ分は $\frac{1}{3}$ mになると考える子どもがいます。本実践では、子どもたちが図や言葉・操作を用いて、分数で表した量を比べながら、分数の意味を考える授業を提案します。

(篠田 啓子)


理科 第4学年  
「グラウンドの水はどこへ」  
子どもが粘り強く雨水の行方を追究していきます



雨が上がり、すぐに水がひくグラウンドを見ても、そこにどんな仕組みがあるのか考えていない子どもたち。一見同じように見えるグラウンドでも場所によって乾き方が違うことに着目し、その秘密を解き明かしていきます。

(牛嶋 克宏)


音楽科 第5学年  
「発見！郷土の音楽の魅力」  
ICTを活用してお囃子をつくり、演奏につなげる授業



民謡は、基本形を基に様々な演奏の形があって自由度が高いのが魅力の一つです。熊本民謡を教材に、子どもたちが曲本来の曲想を生かしたアレンジを試行錯誤し、実際に演奏を通して民謡のよさを味わう授業を提案します。

(中島 千晴)

図画工作科 第2学年  
「石と遊ぼう」(造形遊び)  
石を使って遊ぶ中で、形や色をつくりだす授業



生活の中で、石を並べたり積んだりして遊び、形などをつくりだして楽しむ子どもの姿を見たことがありますよね。そのように子どもが学びの主体となり、形などをつくりだし、よさや面白さについて考えていく授業を提案します。

(毎床 栄一郎)


体育科 第6学年  
「アシストフラッグ」(ゴール型)  
「作戦成功」のために私はどう動く？



フラッグフットボールには、ボールを持たない時の動きに学びが詰まっています。しかし、動きが理解できず、困っている子どももいます。そこで、ボールを持たない時に仲間を手助けし、連携した動きを追求する授業を提案します。

(是住 直人)


道徳科 第1学年  
「あたたかなつながりを～いつもありがと～」  
価値のよさを見つめ直す単元型学習



家庭や学校などでお世話になっている身近な人々の善意に気付かずには過ごす子どもたち。そこで「感謝」を内容項目の中心に据え、家族愛と関連させて単元を組み、身近な人々の言動からその善意に迫る子どもの姿をご覧ください。

(山平 恵太)


体育科 第4学年  
「リンクゲーム」(ネット型ゲーム)  
仲間と連携する動きが身に付く運動



ネット型ゲームでは、相手コートにボールを返すことに必死になり、仲間を意識できていない姿がよく見られます。得点に向けて意図的にボールをつないでいくゲームの中で、連携プレイのよさを実感できる授業を提案します。

(西 沙織)

保健・健康教育 第6学年  
「病気の予防」  
未来へつなげる「健康カルテ」で行動変容へ



自分の未来予想図に近づくため、これからも健康に過ごしたいと考えている子どもたち。生活習慣病と行動とのつながりに目を向けて予防する方法を探り、健康カルテを作成しながら自分に必要な行動を考える授業を提案します。

(津江 禎子・是住 直人)

特別活動(栄養・食育) 第5学年  
「見直そう 私のごはん～プラス1でレベルアップ!～」  
TTを通して、よりよい朝食を目指す子どもに



朝食を毎日欠かさず食べている子どもも、その動きや内容に目を向けることができていないとは限りません。そこで、自分の朝食を見つめ、自分にできる工夫を探っていく中で朝食に対する見方・考え方を変容させます。

(村上 春樹・松尾 夕貴)